

平成28年度 事業報告

平成28年4月に発生した熊本・大分地震から1年が経過し、県内でも由布市を中心に畜産農家にも被害がありました。この被害に対して、全国の畜産農家並びに畜産関係者から義援金の支援を受け、再建に向けて努力しているところであります。

また、昨年11月以降国内で高病原性鳥インフルエンザが発生しており、今後更に防疫体制、生産者自らが衛生対策を強化していく必要があります。

さて、畜産の情勢は、畜産物価格が総じて高値で推移しておりますが、特に子牛市場の28年度平均価格は817千円/頭と極めて高い水準となりました。

このような状況の中、畜産は本県農業の35%を占める重要な品目であります。当協会は、県、市町、農協等関係機関の協力をいただき、生産者の経営支援対策、価格安定対策、家畜衛生対策として各種事業に取り組みました。

経営支援対策では、機構の肉用牛経営安定対策補完事業や協会の豊後牛増頭チャレンジ推進事業を実施したことで、本年度は643頭の優良繁殖雌牛の増頭となり、生産者の経営安定対策や本県の肉用牛繁殖基盤の強化が図られたと考えております。

また、畜産コンサルタント委託事業や畜産特別資金等推進指導事業により生産者の経営改善等関係機関と連携のもと指導を行いました。

更に、生産者の収益性を向上させるために、畜産クラスター関連事業として畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を実施し、各種機械の導入のための支援を行いました。

価格安定対策では、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定特別対策事業、養豚経営安定対策事業を実施する中で、子牛市場価格、肉豚枝肉価格は高値で推移したため補填金の交付はありませんでした。一方、肥育牛では、肉専用種は枝肉価格が高く発動はなかったものの、交雑種では、28年11月に、乳用種では28年の7月以降補填金を交付しており、全体で2,349頭に69,398千円の補填金を交付し肥育生産者の支援を行いました。

家畜衛生対策では、高病原性鳥インフルエンザ等海外悪性伝染病に対する予防・啓発活動に取り組むとともに、ワクチン接種等により家畜の損耗防止を推進し、経営の安定を図りました。また、農場飼養衛生管理の徹底を推進し関係機関と連携して自衛防疫の推進を図り、特に、飼養衛生管理の向上を目指す生産者に対し、農場 HACCP 認証支援地域強化促進事業により、制度の普及並びに認証取得に向けた支援を行いました。

その他、昨年10月には、大分県農林水産祭の一環行事として第77回大分県畜産共

進会、畜産フェスタ等を開催し、畜産振興並びに畜産物の消費拡大等に取り組み畜産に対する理解の醸成に取り組んでまいりました。

本協会の運営は、国、県の補助事業や家畜飼養頭数の減による手数料等の減少で厳しい運営状況ではありますが、新規事業や事業推進による事業の拡大に取り組むとともに、運営経費の削減に努め、公益法人としての役割を果たすため、役職員一丸となって努力してまいりました。

本協会の運営状況

1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	平成28年 6月 2日	平成27年度事業及び収支決算の監査	監事3名	
理事会	平成28年 6月 8日	(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の制定について (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業二係る肥育牛1頭当たりの生産者積立金額について (3) 諸規程の一部改正について (4) 平成27年度事業報告、貸借対照表正味財産増減計算書及び財産目録について(案) (5) 役員の改選について(案) (6) 平成28年度第1回通常総会について	理事11名 監事3名	
理事会	平成28年 6月27日	(1) 専務理事の互選について (2) 肉用子牛生産者補給金制度業務規程の一部改正について	理事12名 監事3名	
監事会	平成28年11月25日	平成28年度上半期監査	監事3名	
理事会	平成29年 2月17日	(1) 特別の積立金(特定準備金)の一部取崩について (2) 肉用子牛生産者補給金制度業務規程の一部改正について (3) 平成28年度補正予算(案)の承認について (4) 平成29年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について (5) 平成29年度役員報酬の承認について (6) 平成29年度予防接種事業標準対価表について (7) 平成29年度事業計画及び収支予算(案)の承認について (8) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について (9) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関の承認について (10) 有期従業員、パートタイマーの就業規則の一部改正について (11) 無期従業員、パートタイマーの再雇用	理事12名 監事2名	

		に関する規程（案）制定について (12) 就業規則の一部改正とハラスメントの防止等に関する規程（案）の制定について (13) 組織規程の一部改正について (14) 平成28年度第2回通常総会の開催並びに提出議案の承認について		
--	--	---	--	--

2. 通常総会の開催について

第1回

開催月日・開催場所	平成28年6月27日・全農大分3階研修所		
総会日現在会員数 (A)	48会員		
出席会員数	実出席会員数 (B)	会員 18 (出席率B/A 37.5%)	
	書面による出席会員数	会員 30	
	計 (C)	会員 48 (出席率C/A 100%)	

主要議案及び議決事項

- (1) 平成27年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について
- (2) 役員の変更について

第2回

開催月日・開催場所	平成29年3月24日・全農大分3階研修所		
総会日現在会員数 (A)	48会員		
出席会員数	実出席会員数 (B)	会員 15 (出席率B/A 31.2%)	
	書面による出席会員数	会員 32	
	計 (C)	会員 47 (出席率C/A 97.9%)	

主要議案及び議決事項

- (1) 平成28年度補正予算（案）の承認について
- (2) 平成29年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について
- (3) 平成29年度役員報酬の承認について
- (4) 平成29年度事業計画及び収支予算（案）の承認について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について

3. 臨時総会の開催

無し

4. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本年度 増	本年度 減	本年度末 現在	備考
正会員	48	0	0	48	
賛助会員	1	0	0	1	
計	49	0	0	49	

5. 役員の状況

異動 区別	前年度末 現在	本年度 辞任	本年度 就任	本年度末 現在	備考
常勤理事	1	1	1	1	
非常勤理事	13	1	1	13	
非常勤監事	3	2	2	3	
計	17	4	4	17	

6. 従業員の状況

異動	前年度末 現在			本年度末 現在			増減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職員	3	2	5	3	2	5			
嘱託(常勤)	5	0	5	5	0	5			
臨時事務員	0	4	4	0	2	2		△2	△2
パート職員	0	4	4	0	5	5		1	1
計	8	10	18	8	9	17		△1	△1

7. 平成28年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月 5日	協会 会計検査院 実地検査	大分市
5月 13日	畜産協会 事業説明会	大分市
5月 16日	大分畜産Net ”鼓動” 通常総会	大分市
6月 2日	監事決算監査	大分市
6月 8日	第1回理事会	大分市
6月 16日	県共進会全体会議	大分市
6月 21日	全国肉用牛振興基金協会通常総会	東京都
6月 22日	中央畜産会通常総会	東京都
6月 27日	第1回通常総会	大分市
6月 29日	第2回理事会	大分市
7月 13日	大分県畜産公社 新施設竣工式	豊後大野市
7月 19日	ゆめネットおおいた 通常総会	大分市
7月 27日～28日	家畜畜産物衛生指導業務九州ブロック協議会	鹿児島県
8月 4日～5日	畜産特別資金等指導推進事業九州ブロック会議	宮崎県

9月13日～14日	九州ブロック専務・事務局長会議	沖縄県
9月15日～16日	マルキン事業九州ブロック会議	福岡県
9月27日～28日	畜産コンサル九州ブロック会議	沖縄県
10月1日	第77回大分県畜産共進会 肉牛の部	豊後大野市
10月15日	第77回大分県畜産共進会 肉用牛の部	別府市
10月15日～16日	大分県農林水産祭 畜産フェスタ	別府市
11月8日～9日	子牛補給金制度九州ブロック会議	大分市
11月10日～11日	九州ブロック経理事務担当者会議	長崎県
11月17日	県監査事務局 監査	大分市
11月25日	上半期監査	大分市
2月17日	第3回理事会	大分市
3月24日	第2回通常総会	大分市

8. 会員の状況

寄託金及び会費一覧表

(平成29年3月31日現在)

(単位:口、千円)

会 員 名	価 格 安 定				家 畜 衛 生		経 営 支 援	合 計
	子 牛		肉 豚		口 数	金 額	会 員 会 費	
	口 数	金 額	口 数	金 額				
【正会員】								
1 大 分 県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000		125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社)大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社)大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫 島 村	2	20	0	0	0	0		20
13 日 出 町	13	130	0	0	0	0		130
14 玖 珠 町	171	1,710	0	0	0	0		1,710
15 九 重 町	152	1,520	0	0	0	0		1,520
16 国 東 市	36	360	0	0	0	0		360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0		110
18 杵 築 市	71	710	0	0	0	0		710
19 別 府 市	16	160	0	0	0	0		160
20 大 分 市	48	480	0	0	0	0		480
21 由 布 市	148	1,480	0	0	0	0		1,480
22 臼 杵 市	24	240	0	0	0	0		240
23 津 久 見 市	2	20	0	0	0	0		20
24 佐 伯 市	39	390	0	0	0	0		390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0		3,030
26 竹 田 市	327	3,270	0	0	0	0		3,270
27 日 田 市	58	580	0	0	0	0		580
28 中 津 市	35	350	0	0	0	0		350
29 宇 佐 市	102	1,020	0	0	0	0		1,020
30 大 分 県 農 業 協 同 組 合	3,920	39,200	412	4,120	0	0	2,460	45,780
31 ペっぶ日出	79	790	2	20	0	0	120	930
32 玖珠九重	1,024	10,240	2	20	0	0	120	10,380
33 九重町飯田	181	1,810	0	0	0	0	60	1,870
34 下 郷	11	110	0	0	0	0	60	170
35 (公社)全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
36 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
37 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
38 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170		3,170
39 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970		3,970
40 県西地区	0	0	0	0	105	1,050		1,050
41 県北	0	0	0	0	347	3,470		3,470
42 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700		700
43 県西地区	0	0	0	0	106	1,060		1,060
44 県北	0	0	0	0	291	2,910		2,910
45 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120		120
46 県南	0	0	0	0	55	550		550
47 県西	0	0	0	0	37	370		370
48 県北	0	0	0	0	10	100		100
【賛助会員】								
1 ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
総 合 計	21,059	210,590	1,628	16,280	5,137	51,370	6,810	285,050

正 会 員 48

賛 助 会 員 1

(経営支援課)

1. 肉用牛経営安定対策補完事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	69,475,000	74,445,556

肉用牛生産基盤の強化に向けて、増頭のための肉用牛優良雌牛の導入や農家の高齢化等に対応するためのヘルパー活動の支援を行った。

(1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

1) 中核的担い手育成増頭推進

県内の肉用牛農家が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金として、643頭の増頭に対して60,560,000円(1頭当たり80,000円(187頭)、育種価要件の高い牛には100,000円(456頭))の補助金を交付し、本県肉用牛の増頭を促進した。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	東部事業部 (国東)	7	600,000	18	1,580,000
	東部事業部 (杵築)	10	1,000,000	13	1,260,000
	東部事業部 (山香)	37	3,700,000	64	6,320,000
	中西部事業部 (由布)	30	2,900,000	32	3,120,000
	中西部事業部 (日田)	9	840,000	10	940,000
	南部事業部 (臼杵)	2	200,000	2	200,000
	南部事業部 (野津)	2	160,000	2	160,000
	南部事業部 (佐伯)	24	2,300,000	31	2,940,000
	豊肥事業部 (豊後大野)	48	4,500,000	53	4,980,000
	豊肥事業部 (竹田)	154	14,720,000	199	18,640,000
	北部事業部 (豊後高田)	36	3,520,000	45	4,320,000
	北部事業部 (宇佐)	27	2,500,000	27	2,500,000
	北部事業部 (中津)	34	3,280,000	38	3,640,000
	小計	420	40,220,000	534	50,600,000
べっふ日出農業協同組合		11	1,000,000	11	1,000,000
玖珠九重農業協同組合		56	5,400,000	84	7,680,000
九重町飯田農業協同組合		9	820,000	11	1,020,000
下郷農業協同組合		3	260,000	3	260,000
合 計		499	47,700,000	643	60,560,000

2) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・拡大を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を購入し、生産者に一定期間貸し付ける場合の要件に応じた補助金として、45頭の貸付牛に対して2,220,000円（1頭当たり40,000円（3頭）育種価要件の高い牛には50,000円（42頭））の補助金を交付した。

（単位：頭、円）

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	南部事業部（佐伯）	12	600,000	0	0
	豊肥事業部（竹田）	25	1,250,000	24	1,170,000
	中西部事業部（日田）	29	1,450,000	10	500,000
	小計	66	3,300,000	34	1,670,000
べっふ日出農業協同組合		1	50,000	0	0
玖珠九重農業協同組合		30	1,500,000	7	350,000
九重町飯田農業協同組合		20	1,000,000	4	200,000
合 計		117	5,850,000	45	2,220,000

3) 肉用牛ヘルパー推進

農家の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進等の活動を支援し、5ヘルパー利用組合の利用者に対して利用料金の1/2以内で補助金を交付した。

（単位：円）

事業実施者	計 画		実 績	
	事業費	金 額	事業費	交付金額
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,640,400	710,550	1,498,910	632,238
湯布院町肉用牛ヘルパー利用組合	1,840,715	809,717	1,111,715	520,797
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	9,306,900	4,333,390	4,008,020	1,826,920
久住地域肉用牛ヘルパー組合	7,447,500	2,281,010	6,933,375	2,119,763
大分由布畜産サポート組合	5,080,320	1,587,608	2,808,000	866,450
合 計	25,315,835	9,722,275	16,360,020	5,966,168

4) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関の調整、増頭確認、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導を実施した。

区 分	計画額 (円)	実績額 (円)
肉用牛振興推進指導事務費	6,202,725	5,699,388

2. 豊後牛増頭チャレンジ推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産協会 奨励金	39,200,000	39,480,000

肉用牛の規模拡大による経営の安定や豊後牛の銘柄確立を推進すると共に、地域の活性化を図るため肉用牛の増頭を促進し、肉用牛農家等が繁殖雌牛を増頭した場合に、1頭当たり70,000円の奨励金を564頭に対して39,480,000円交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭 数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	東部事業部 (国東)	10	700,000	10	700,000
	東部事業部 (杵築)	13	910,000	13	910,000
	東部事業部 (山香)	23	1,610,000	23	1,610,000
	中西部事業部 (由布)	32	2,240,000	32	2,240,000
	中西部事業部 (日田)	10	700,000	10	700,000
	南部事業部 (臼杵)	2	140,000	2	140,000
	南部事業部 (野津)	2	140,000	2	140,000
	南部事業部 (佐伯)	31	2,170,000	31	2,170,000
	豊肥事業部 (豊後大野)	52	3,640,000	52	3,640,000
	豊肥事業部 (竹田)	187	13,090,000	191	13,370,000
	北部事業部 (豊後高田)	25	1,750,000	25	1,750,000
	北部事業部 (宇佐)	27	1,890,000	27	1,890,000
	北部事業部 (中津)	37	2,590,000	37	2,590,000
	小計	451	31,570,000	455	31,850,000
べっぶ日出農業協同組合		11	770,000	11	770,000
玖珠九重農業協同組合		84	5,880,000	84	5,880,000
九重町飯田農業協同組合		11	770,000	11	770,000
下郷農業協同組合		3	210,000	3	210,000
合 計		560	39,200,000	564	39,480,000

3. 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金等借入者の早期経営改善に向けて関係機関と一体となって総合的な支援指導を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	3,600,000	3,562,316

実施事項	回数 部数	人数 戸数	内容
都道府県支援推進協議会の開催	1回	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度産特別資金等推進指導事業実施報告 ・平成28年度産特別資金等推進指導事業実施(案)について ・畜特資金借入者の状況について ・畜特資金の推進について
融資機関への指導・助言	12回	11機関	経営改善計画の達成状況の確認並びに借入者に対する指導状況・内容等に関する指導。
経営改善計画作成・見直し指導	延べ 11回	7戸	肉用牛肥育1戸、酪農5戸、養豚1戸の経営改善見直し計画作成に関する支援・指導、並びに県見直し計画審査会での支援・指導。
経営改善計画達成指導	延べ 71回	21戸	繁殖10戸肥育4戸、酪農4戸を対象に改善計画に対する達成状況、改善状況の把握と改善指導。また、酪農2戸、養豚1戸に対する濃密指導。
借入者の経営改善のための指導資料作成	50部	—	<p>以下の内容で畜産特別資金等支援指導推進資料を作成し融資機関、指導機関等へ配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県内における畜産特別資金の状況について ②農業信用保証保険制度について ③畜産特別資金制度と経営改善指導について ④要綱、要領、事務処理要領 <p>配布先：融資機関、県・振興局、関係団体</p>
その他借入者への指導事項	1回	37人	「経営改善に向けた支援指導の強化」をテーマに融資機関、関係機関を対象に外部講師を迎え畜特資金の制度と経営改善指導について研修会を開催。

4. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助により県内畜産経営の支援強化を行い、地域畜産の活性化や安全で、安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
地方競馬全国協会 補助金	8,042,000	8,042,000

(1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

1) 畜産経営改善指導及び担い手の育成支援業務

畜産農家の経営診断を行い経営安定のため改善指導を実施するとともに、診断結果に基づき公庫資金等の借入者の支援も行った。また、畜産ネットワーク組織の会員が自らスキルアップするための活動も支援した。

(2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

1) 食育学級の実施と県産畜産物の消費拡大推進業務

県内の小学生を中心に、生産者のネットワーク組織と連携して、『食育授業』の実施や県産畜産物を使った調理実習を行った。また、県産畜産物の消費拡大のため農家と連携して、県農林水産祭等で消費者に対して広報活動を行い、畜産に対する理解の醸成を図った。

(3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

1) 地方競馬支援対策業務

新たな競馬ファンを獲得するために、佐賀競馬場への観戦ツアーを行った。

また、畜産の普及啓発のため佐賀競馬で開催された冠競走（第13回ロータスクラウン賞）の副賞に県産畜産物を提供し、県産畜産物の消費拡大並びに畜産に対する意識の高揚を図った。

5. 畜産コンサルタント委託事業

畜産経営の安定を図り、飼養規模の維持・拡大を促進するために、肉用牛経営及び酪農経営については、経営診断を行い結果をもとに支援・指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	3,410,000	3,410,000

(1) 畜産経営支援指導研究会の開催

畜産経営体の支援指導を実施するため支援指導の進め方及び対象農家の選定について協議した。

(2) 畜産経営技術総合支援指導

1) 経営改善指導

肉用牛経営12戸、酪農経営8戸を対象に経営診断を実施し、分析結果をもとに支援・指導を行った。

2) 経営管理技術指導

肉用牛経営 10 戸、酪農経営 4 戸、養豚経営 1 戸を対象に経営診断並びに経営指標データの収集を行った。

3) 生産技術指導

肉用牛経営 2 戸、酪農経営 1 戸、養豚経営 1 戸を対象に生産技術、衛生管理に関する指導を行った。また、幅広く農家の各種要望に応じていくために毎月開催される家畜市場において相談対応を行った。

《対象経営戸数》

	肉用牛		酪農経営	養豚経営	合 計
	繁殖経営	肥育経営			
経営改善指導	10	2	8	0	20
経営管理指導	10	0	4	1	15
生産技術指導	1	1	1	1	4
合 計	21	3	13	2	39

(3) 畜産情報の提供

ホームページを充実し、畜産農家が容易に利用できる情報や資料を整備し提供するとともに消費者に向けて畜産等に関する情報を提供した。

6. 貸付事業指導等事業

公益財団法人 畜産近代化リース協会の機械施設借受者に対して、機械施設の保管状況の確認と管理状況の調査を実施し、適正な利用についての支援指導を行った。

また、農協等を巡回し、各担当者へ畜産機械施設リースの説明を行い、新規開拓を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産近代化リース協会 委託費	329,000	329,000

(1) 貸付機械装置確認調査

借受者数 (戸)	貸付機械台数 (台)
23	33

7. 畜産関係団体調整機能強化事業

生産者組織「大分畜産 Net “鼓動”」・「ゆめネットおおいた」を中心として県内の肉用牛生産者を対象として、経営管理、生産技術研修会を開催し個々のスキルアップを図ると共に、消費者への県産畜産物の PR 活動も行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	193,000	193,000

生産者組織活動実績	
大分畜産Net “鼓動”	ゆめネットおおいた
1. 総会、役員会 (3回) 2. スキルアップ研修会 (2回) 3. 県外視察【佐賀伊万里牛視察】 4. 食育活動 (4回) 5. 畜産スタンプラリー 6. 畜産PR活動 (テレビ出演)	1. 総会、役員会 (2回) 2. 食育活動 3. 宮崎県生産者交流会 4. 県外視察【長崎平戸口中央市場】

8. 日本政策金融公庫調査委託事業

(株) 日本政策金融公庫の調査委託事業として、1 月の子牛市場 (玖珠・豊肥) において公庫資金の広報・相談活動を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
日本政策金融公庫 委託費	50,000	50,000

9. 公庫資金活用推進事業

公庫資金借入者 2 戸の経営状況調査並びに借入希望者 1 戸の資金借入計画書の作成支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	50,000	90,000

10. 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業

肉用牛繁殖経営 17 戸を対象に経営及び飼養管理技術調査を実施するとともに技術レベルの引き上げを目的に標準的な技術レベルを下回った肉用牛繁殖経営 3 戸に対して個別指導支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	326,000	313,800

1.1. 肉用牛経営安定対策補完事業の多様な担い手支援事業

地域の後継者等が抱える課題等を明らかにすることにより多様な担い手確保にあたっての問題点や育成方法の検討を行うため、中央畜産会が実施する担い手確保に向けた特徴的な取組についての現地調査支援（1組織 延べ3回）、就農セミナー開催支援（1回）、中央で開催した交流会（1回）の支援を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	740,000	680,466

1.2. 畜産クラスター全国推進事業

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な情報（経営指標値等）として、県内の先進的な経営体等を対象に経営調査を行なった。（肉用牛繁殖経営 10事例）

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	420,000	400,386

1.3. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

地域を支える畜産農家の支援として、各畜産クラスター協議会の策定したクラスター計画に基づき収益性の向上を図るために機械導入事業を推進し、畜産経営の支援を行い、大分県の機械導入事業の窓口業務として、各申請書類を取りまとめた。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	3,560,000	3,302,033

実施事項	回数 部数	人数 戸数	内容
申請書類等の取り纏め		延べ 17 協議会	第1回要望分（要望調書）56件（取組主体） 第2回要望分（要望調書）32件（取組主体） 予算配分額通知（第1回・2回分） 第1回要望分（参加申請）32件（取組主体） 第2回要望分（参加申請）16件（取組主体） 承認通知（第1回・2回分） 第1回要望分（実績報告）30件（取組主体）
全国会議	7回	延べ9名	事業に係る全国会議にて、事業説明会並びに電算システムの研修を受けた。
県内説明会	2回	延べ91名	全国会議にて説明を受けた内容を各クラスター協議会、行政、各関係団体に対して県内説明会を行った。

【第1回要望分】

No.	クラスター協議会	参加者	要望機械	採択数
1	千歳地域耕畜連携推進協議会	1	2	2
2	佐伯地区畜産クラスター協議会	5	5	5
3	玖珠九重畜産クラスター協議会	26	39	16
4	日田地域畜産振興会	2	2	0
5	豊後高田市クラスター協議会	2	2	1
6	中津市畜産クラスター協議会	5	5	1
7	宇佐市肉用牛クラスター協議会	3	6	3
8	大分県農協肥育委託事業プロジェクト協議会	2	2	1
9	大分県酪農クラスター協議会	10	10	3
合 計 (9 協議会)		56	72	32

【第2回要望分】

No.	クラスター協議会	参加者	要望機械	採択数
1	佐伯地区畜産クラスター協議会	1	6	1
2	玖珠九重畜産クラスター協議会	19	36	13
3	日田地域畜産振興会	2	4	0
4	豊後高田市クラスター協議会	1	1	0
5	中津市畜産クラスター協議会	2	2	0
6	宇佐市肉用牛クラスター協議会	2	3	1
7	大分県農協肥育委託事業プロジェクト協議会	1	1	0
8	大分県酪農クラスター協議会	4	8	1
合 計 (8 協議会)		32	61	16

1.4. 農場HACCP認証支援地域強化促進事業

農場 HACCP への取組支援等による農場の育成を通じて、農場 HACCP 認証の広範かつ加速的な普及を図るため、地域での指導体制を整備し、農場 HACCP の構築に取り組んだ。併せて、これまでの事業成果で得られたモデル農場における課題の抽出と改善成果を活用し、生産農場での衛生管理システム構築等、農場 HACCP の推進を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,325,000	2,276,617

(1) 大分県農場HACCP取組状況

農場HACCP認証取得	肉用牛1件、採卵鶏1件
農場HACCP推進取得	肉用牛1件、乳用牛1件、養豚2件

実施事項	回数	人数 戸数	内容
①普及推進協議会	1回	53名	・行政、関係団体に対して農場 HACCP 概要・取組事例講習会
②地域取組促進活動	2回	延べ60名	・生産者、行政、関係団体に対して農場 HACCP の概要・取組事例研修会
③構築指導意見交換	6ヶ所	延べ29名	・各農場 HACCP 取組生産者へ効果確認を行い、次年度の課題、目標等の聞き取り
④構築指導事業	延べ 37回	4ヶ所	・農場 HACCP 認証への構築をする為、講師を雇用し、農場 HACCP 推進会議

15. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

大分県農林水産祭（第40回大分県農業祭）の一環行事の第77回大分県畜産共進会（別府市・大分市・豊後大野市）の開催を支援した。〔県共進会単体会計〕

また、牛肉、豚肉、鶏卵等畜産物の消費拡大を図るため、大分県農林水産祭の一環行事の畜産フェスタの開催を支援した。

(1) 第77回大分県畜産共進会の開催

区分	肉牛の部	種畜の部	
		肉用牛の部	乳用牛
開催時期	10月1日	10月15日	10月26日
開催場所	豊後大野市	別府市	大分市
出品家畜	肉牛	肉用牛	乳用牛
出品頭数	49頭	65頭	69頭

(2) 畜産フェスタの開催

区分	畜産フェスタ
開催時期	10月15日・16日
開催場所	別府市

16. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援

経営支援課内に団体支援室を設け各団体の活動支援を行った。

区分	予算額 (円)	決算額 (円)
団体事務委託収入	1,037,000	1,038,878

17. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規定に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営体の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
登記・登録料	280,800	245,160

主な種別	実施予定頭数	実績頭数
黒豚生産農場認定	1 施設	1 施設
子豚登記	80 頭	88 頭
種豚登録	25 頭	16 頭
系統種豚登録	10 頭	0 頭
移動証明	0 頭	1 頭

18. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対する情報提供を行うと共に、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行なった。

また、ホームページでは、畜産コンサルタント、経営相談窓口、資金制度、価格安定制度、衛生情報、補助事業等の情報提供を行った。

(価格安定課)

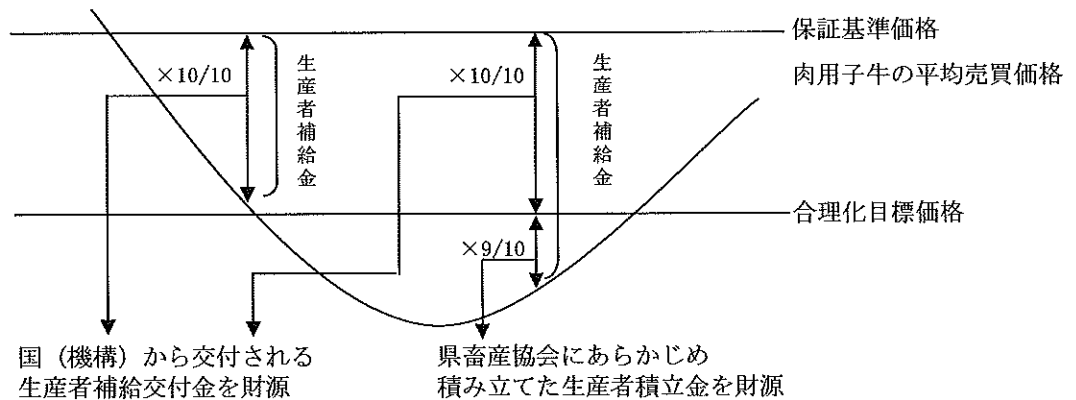
1. 肉用子牛生産者補給金制度

平成27年度第4四半期～平成28年度第3四半期を通して全ての品種で子牛販売価格が高値で推移したため生産者補給金の発動はなかった。

<制度の仕組み>

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としている。

具体的には、四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中に販売、又は自家保留した肉用子牛に対し生産者補給金を交付する。



(1) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：人)

契約区分	契約者数			備考
	26年度	27年度	28年度	
個人	1,820	1,206	1,215	
農協	-	-	-	
農協連	-	-	-	
農事組合法人	2	3	3	
株式会社	5	5	6	
有限会社	18	12	12	
民法法人	-	-	-	
合計	1,845	1,226	1,236	

(2) 事務委託契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数			備考
	26年度	27年度	28年度	
J A 農協	5	5	5	
専門農協	2	2	2	県酪、熊本
農協連	1	1	1	全農大分県本部
その他	1	1	1	配合飼料基金
合計	9	9	9	

(3) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分	平成28年度					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒毛和種	2,793	2,610	2,880	2,867	11,150	
褐毛和種	4	0	2	5	11	
乳用種の品種	996	785	516	391	2,688	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	306	298	269	338	1,211	
合計	4,099	3,693	3,667	3,601	15,060	

(4) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	337,000	280,000	
褐毛和種	307,000	257,000	
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	220,000	149,000	日本短角種等
乳用種の品種	133,000	90,000	
肉専用種と乳用種の交雑の品種	205,000	147,000	

(5) 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種(雌を除く)	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

(6) 平均売買価格

(単位：円)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
平成28年1月1日～3月31日	768,500	691,200	478,200	239,300	392,200
平成28年4月1日～6月30日	797,900	695,900	508,100	229,300	387,800
平成28年7月1日～9月30日	812,100	764,800	389,600	216,700	401,200
平成28年10月1日～12月31日	849,200	829,900	372,500	208,600	417,900

(7) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金(生産者積立金の額)

(単位:円)

区分	生産者積立金	負担区分		
		機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1,200	600	300	300
褐毛和種	4,600	2,300	1,150	1,150
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	12,400	6,200	3,100	3,100
乳用種の品種	6,400	3,200	1,600	1,600
肉専用種と乳用種の交雑の品種	2,400	1,200	600	600

(8) 生産者積立金造成内訳

(単位:頭、円)

品 種	区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
					機構(1/2)	大分県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	継 続	10,986	1,200	13,183,200	6,591,600	3,295,800	3,295,800
	新 規	164	1,200	196,800	98,400	49,200	49,200
	計	11,150	-	13,380,000	6,690,000	3,345,000	3,345,000
褐毛和種	継 続	11	4,600	50,600	25,300	12,650	12,650
	新 規	0	4,600	0	0	0	0
	計	11	-	50,600	25,300	12,650	12,650
乳用種の品種	継 続	0	6,400	0	0	0	0
	新 規	2,688	6,400	17,203,200	8,601,600	4,300,800	4,300,800
	計	2,688	-	17,203,200	8,601,600	4,300,800	4,300,800
肉専用種と乳用種の交雑の品種	継 続	1,169	2,400	2,805,600	1,402,800	701,400	701,400
	新 規	42	2,400	100,800	50,400	25,200	25,200
	計	1,211	-	2,906,400	1,453,200	726,600	726,600
計	継 続	12,166	-	16,039,400	8,019,700	4,009,850	4,009,850
	新 規	2,894	-	17,500,800	8,750,400	4,375,200	4,375,200
	計	15,060	-	33,540,200	16,770,100	8,385,050	8,385,050

(9) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種	計	
I 期 首 残 高		(1) 生産者積立金	18,731,407	44,107	25,896,181	4,897,508	49,569,203	
		(2) 生産者積立準備金	219,044,789	0	0	0	219,044,789	
	内 訳	(3) 生産者の負担金充当分	71,115,256	-	-	-	71,115,256	
		(4) 県の生産者積立助成金充当分	147,929,533	-	-	-	147,929,533	
		(5) 機構の生産者積立助成金充当分	0	-	-	-	0	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績		(6) 生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)	6,739,200	25,300	12,902,400	1,478,400	21,145,300	
		(7) 生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)	6,640,800	25,300	4,300,800	1,428,000	12,394,900	
		(8) 計	13,380,000	50,600	17,203,200	2,906,400	33,540,200	
	内 訳	生 産 者	(9) 負担金	49,200	0	4,300,800	25,200	4,375,200
			(10) 生産者積立準備金(3)からの繰入	3,295,800	12,650	0	701,400	4,009,850
			(11) 小計	3,345,000	12,650	4,300,800	726,600	8,385,050
		県	(12) 生産者積立助成金	0	0	0	0	0
			(13) 生産者積立助成金(4)からの繰入	3,345,000	12,650	4,300,800	726,600	8,385,050
			(14) 小計	3,345,000	12,650	4,300,800	726,600	8,385,050
	機 構 そ の 他	機 構	(15) 生産者積立助成金	6,690,000	25,300	8,601,600	1,453,200	16,770,100
			(16) 生産者積立助成金(5)からの繰入	0	0	0	0	0
		(17) 小計	6,690,000	25,300	8,601,600	1,453,200	16,770,100	
		(18) 生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	
	III 他 の 資 金 繰 入 の 状 態		(19) 特別の積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0
			(20) 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0
			(21) 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0
			(22) 生産者積立金に係る運用果実	4,976	11	6,917	1,295	13,199
			(23) 生産者補給金交付額(21)を含む	0	0	0	0	0
		(24) 生産者積立金から借入金返済額	0	0	0	0	0	
		(25) 生産者分生産者積立準備金に係る運用果実	15,945	0	0	0	15,945	
		(26) 県分生産者積立準備金に係る運用果実	36,804	0	0	0	36,804	
		(27) 機構分生産者積立準備金返還金	0	0	0	0	0	
	(28) 生産者分生産者積立準備金返還金	373,337	0	0	0	373,337		
	(29) 償還円滑化積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0		
IV 期 末 残 高		(30) 生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)	32,116,383	94,718	43,106,298	7,805,203	83,122,602	
		(31) 生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)	206,329,301	0	0	0	206,329,301	
	内 訳	(32) 生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)-(28)	66,748,014	-	-	-	66,748,014	
		(33) 県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)	139,581,287	-	-	-	139,581,287	
(34) 機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)		0	-	-	-	0		

(10) 生産者補給金交付状況

1) 生産者補給金（機構、県協会合計分）

(単位：円、頭、人)

区 分			保証基準価格の品種区分		黒毛和種	褐毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計	
平成 27 年 度	第 4 半 期	平成28年 1月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-	
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-	
				合 計	-	-	-	-	-	
		平成28年 3月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-		
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-		
	交付対象生産者数			-	-	-	-	-		
	平成 28 年 度	第 1 半 期	平成28年 4月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-
				頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-
					合 計	-	-	-	-	-
			平成28年 6月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-	
③ 生産者補給金交付額 (①×②)				-	-	-	-	-		
交付対象生産者数			-	-	-	-				
第 2 半 期		平成28年 7月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-	
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-	
				合 計	-	-	-	-	-	
		平成28年 9月30日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-		
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-		
交付対象生産者数			-	-	-	-				
第 3 半 期	平成28年 10月1日 ～	交付対象	販 売	-	-	-	-	-		
		頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-		
			合 計	-	-	-	-	-		
	平成28年 12月31日	② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-			
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-			
交付対象生産者数			-	-	-	-				
合 計			交付対象	販 売	-	-	-	-	-	
			頭数 ①	保 留	-	-	-	-	-	
				合 計	-	-	-	-	-	
			② 生産者補給金単価	-	-	-	-	-		
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)	-	-	-	-	-		
交付対象生産者数			-	-	-	-				

2. 肉用牛繁殖経営支援事業

平成27年度第4四半期～平成28年度第3四半期の支援交付金の発動はなかった。

(1) 交付基準

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合に、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の4分の3に相当する額の支援交付金が交付される。

(2) 発動基準価格 (平成27年度第4四半期) (単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格
黒毛和種	332,000	420,000	768,500
褐毛和種	303,000	380,000	691,200
その他の肉専用種	217,000	280,000	478,200

(平成28年度第1四半期以降) (単位：円)

品種	保証基準価格	発動基準	平均売買価格		
			1期	2期	3期
黒毛和種	337,000	450,000	797,900	812,100	849,200
褐毛和種	307,000	410,000	695,900	764,800	829,900
その他の肉専用種	220,000	290,000	508,100	389,600	372,500

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

平成28年2月期～平成29年1月期における交付実績は、2,349頭に対して69,398,100円であった。その内、交雑種については276頭に対して1,711,200円、乳用種については2,073頭に対して67,686,900円の実績となった。しかし、肉専用種については枝肉相場が堅調に推移したことで補填金の発動はなかった。

(1) 交付基準

肉用牛肥育経営の安定を図るため、粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者の拠出と国の補助により造成された基金から粗収益と生産費との差額の8割を補填する。本来この事業は四半期毎の交付だが、平成23年7月以降月毎の交付となっている。さらに平成26年4月以降は概算払方式となっている。

(2) 1頭当たり基金造成額の内訳

(単位：頭)

区分	1頭当たり造成額 (負担割合)		負担区分		
			生産者	大分県	農畜産業振興機構
			1/4		3/4
			定額	定額	
肉専用種	28年3月以前	52,000	12,250	750	39,000
	28年4月以降	52,000	12,250	750	39,000
交雑種	28年3月以前	100,000	24,170	830	75,000
	28年4月以降	100,000	24,170	830	75,000
乳用種	28年3月以前	68,000	16,470	530	51,000
	28年4月以降	104,000	25,470	530	78,000

(3) 積立頭数の内訳

(単位：頭)

区分	28年				29年	小計	再納付	計	
	2月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月1日～ 1月31日				
肉専用種	通常	891	1,310	1,448	1,470	388	5,507	1,840	7,347
	免除	0	19	5	0	0	24	74	98
交雑種	通常	455	876	849	912	270	3,362	747	4,109
	免除	0	0	0	0	0	0	0	0
乳用種	通常	585	608	605	505	186	2,489	617	3,106
	免除	0	4	0	0	0	4	2	6
計	1,931	2,817	2,907	2,887	844	11,386	3,280	14,666	

※免除とは、熊本・大分地震により生産者積立金のうち生産者負担分（県含む）について納付免除を行った。

※再納付とは、在庫牛（前業務対象年間でH28.3月まで）に生産者積立金を納付したが販売されていない牛）について優先的に基金残額を返還し、新業務対象年間において再度積立を行った頭数。

(4) 肥育安定基金の造成状況

(単位：円)

区 分		肉専用種	交雑種	乳用種	合計		
期 首 残 高		1,019,869,723	799,833,444	436,235,495	2,255,938,662		
増 加	積 立 金	農畜産業振興機構	290,355,000	308,175,000	226,941,000	825,471,000	
		大分県	補助金	3,304,200	2,232,368	1,055,336	6,591,904
			準備金	2,206,050	1,178,102	590,844	3,974,996
		生産者	90,233,500	99,314,530	73,870,290	263,418,320	
	計	386,098,750	410,900,000	302,457,470	1,099,456,220		
運 用 益	21,570	20,426	15,834	57,830			
肥育牛補填金返還金	0	60,650	0	60,650			
小計	386,120,320	410,981,076	302,473,304	1,099,574,700			
減 少	肥育牛補填金	0	1,711,200	67,686,900	69,398,100		
	肥育積立準備金への繰出	12,020,519	6,279,845	3,106,024	21,406,388		
	積立金返戻金（生産者）	250,119,712	205,053,538	113,311,315	568,484,565		
	補助金返還金（機構）	804,294,350	634,000,150	352,759,962	1,791,054,462		
	小計	1,066,434,581	847,044,733	536,864,201	2,450,343,515		
期 末 残 高		339,555,462	363,769,787	201,844,598	905,169,847		

(5) 補填金単価算定結果

(単位：円)

区 分		28年						
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,143,030	1,148,529	1,118,660	1,214,977	1,218,850	1,176,694	1,189,994
	平均生産費(B)	995,878	995,123	994,491	983,954	982,797	981,982	1,019,028
	差額(C) = (A) - (B)	147,152	153,406	124,169	231,023	236,053	194,712	170,966
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-	-
交雑種	平均粗収益(A)	742,484	709,300	727,368	776,695	779,155	757,015	757,999
	平均生産費(B)	698,715	699,701	697,202	700,201	712,050	738,043	742,862
	差額(C) = (A) - (B)	43,769	9,599	30,166	76,494	67,105	18,972	15,137
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-	-
乳用種	平均粗収益(A)	455,245	450,283	445,053	459,617	465,241	466,423	458,395
	平均生産費(B)	456,683	463,487	467,015	453,494	453,455	465,469	480,753
	差額(C) = (A) - (B)	△ 1,438	△ 13,204	△ 21,962	6,123	11,786	954	△ 22,358
	補填金単価 = (C) × 0.8	1,100	10,500	17,500	-	-	-	17,800

区 分		28年					29年
		8月	9月	10月	11月	12月	1月
肉専用種	平均粗収益(A)	1,172,308	1,208,750	1,248,749	1,217,800	1,235,254	1,236,343
	平均生産費(B)	1,018,469	1,017,083	1,051,938	1,050,069	1,048,513	1,070,719
	差額(C) = (A) - (B)	153,839	191,667	196,811	167,731	186,741	165,624
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	-	-	-
交雑種	平均粗収益(A)	754,506	766,290	755,091	745,764	763,231	759,703
	平均生産費(B)	738,085	725,369	743,738	753,554	750,360	747,078
	差額(C) = (A) - (B)	16,421	40,921	11,353	△ 7,790	12,871	12,625
	補填金単価 = (C) × 0.8	-	-	-	6,200	-	-
乳用種	平均粗収益(A)	459,533	452,597	448,583	448,033	444,931	440,080
	平均生産費(B)	493,061	511,368	505,250	512,419	521,413	530,461
	差額(C) = (A) - (B)	△ 33,528	△ 58,771	△ 56,667	△ 64,386	△ 76,482	△ 90,381
	補填金単価 = (C) × 0.8	26,800	47,000	45,300	51,500	61,100	68,300

※肉専用種については、地域算定により算出している。

※交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※補填金単価について

H28.1月分は精算払単価。

H28.2月～12月分は確定単価。

H29.1月は概算払単価。

(6) 肥育牛補填金交付実績総括表

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	補填金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
平成28年 1月期 (精算金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	207	1,100	227,700
	計		11	207		227,700
平成28年 2月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	257	10,500	2,698,500
	計		9	257		2,698,500
平成28年 3月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	225	17,500	3,937,500
	計		8	225		3,937,500
平成28年 4月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	0	0	0
	計		0	0		0
平成28年 5月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	0	0	0
	計		0	0		0
平成28年 6月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	0	0	0
	計		0	0		0
平成28年 7月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	235	17,800	4,183,000
	計		8	235		4,183,000
平成28年 8月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	197	26,800	5,279,600
	計		6	197		5,279,600
平成28年 9月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	215	47,000	10,105,000
	計		7	215		10,105,000
平成28年 10月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	182	45,300	8,244,600
		免除牛	-	2	33,900	67,800
計		7	184		8,312,400	
平成28年 11月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	276	6,200	1,711,200
	乳用種	通常	-	210	51,500	10,815,000
	計		20	486		12,526,200
平成28年 12月期 (確定金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	178	61,100	10,875,800
	計		6	178		10,875,800
平成29年 1月期 (概算金額)	肉専用種	通常	-	0	0	0
	交雑種	通常	-	0	0	0
	乳用種	通常	-	164	68,300	11,201,200
		免除牛	-	1	51,200	51,200
計		9	165		11,252,400	
合計	肉専用種	通常	-	0	-	0
	交雑種	通常	-	276	-	1,711,200
	乳用種	通常	-	2,070	-	67,567,900
		免除牛	-	3	-	119,000
計		91	2,349	-	69,398,100	

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

※平成26年度から補填金の概算払いが実施されており、四半期毎に精算される。

4. 大分県肉豚価格安定対策事業

独立行政法人 農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定対策事業（平成27年度～29年度まで：直接交付方式）に参加する県内の養豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。（県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構の養豚基金に積み立てする。）

(1) 生産者負担金単価 (円/頭)

区 分	生産者負担金単価	内	
		県補助金	生産者負担分
第1四半期～第4四半期	700	100	600

(2) 事業対象頭数 231,820頭

(3) 肉豚補てん準備金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	附 記
期 首 残 高		63,919,395	前期繰越金
増加	運用益	16,217	
	小 計	16,217	
減少	養豚基金負担金支出	11,591,000	
	小 計	11,591,000	
期 末 残 高		52,344,612	

(4) 肉豚補てん積立金造成状況 (単位：円)

区 分		金 額	附 記
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	11,591,000	
	小 計	11,591,000	
減少	養豚基金負担金支出	11,591,000	
	小 計	11,591,000	
期 末 残 高		0	

※県補助金部分については、現在交付決定通知が未着のため、肉豚補填準備金で対応。

5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

- 1) 生産者補給金交付契約を締結した生産者の個体識別及び個体登録、保留確認、生産者に対する啓発指導及び業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる報告を行う。また、家畜市場での取引情報を収集し、機構へ報告した。
- 2) 当制度の適正な実施体制を図るため事務委託先及び契約生産者を対象に肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	14,501,000	12,915,305

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	5,155,000	5,155,000

(3) 肉用牛繁殖経営地域推進事業

事業の円滑な推進を図るため、推進会議開催、調査指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	3,995,000	3,655,512

(4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (肥育経営安定推進)

事業の円滑な実施を図るため、推進会議開催、調査指導を行うとともに、補填金の円滑な交付に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	7,334,000	6,994,994

(5) 養豚経営安定対策事業に係る業務委託事業

畜産業振興機構が直接方式で実施する養豚経営安定対策事業の円滑な実施を図るため、事業内容の周知や手続きに関する説明会の開催及び参加する生産者からの相談業務等を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	452,800	414,464

6. 業務実施事項

(1) 業務運営基金 (平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要		会員数	子牛	肉豚	計
寄託金					
	大 分 県	1	100,000	-	100,000
	市 町 村	18	15,580	-	15,580
	農 協	5	52,150	4,160	56,310
農 協 連	中 央 会	1	10	-	10
	県 信 連	1	7,660	2,000	9,660
	全 農 大 分 県 本 部	1	26,260	7,510	33,770
	全 国 共 済 連	1	3,830	1,500	5,330
	畜 産 公 社	1	-	100	100
	配 合 飼 料 基 金	1	100	510	610
	県 酪 農 協	1	5,000	-	5,000
	シエイエ北九州くみあい飼料(株)	1	-	500	500
	計	32	210,590	16,280	226,870
補助金					
	全国肉用牛振興基金協会	-	12,000	-	12,000
	計	-	12,000	-	12,000

(2) 基本財産 (平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

摘 要	子牛	肉豚	計
特別の積立金より繰入	200,000	-	200,000
合 計	200,000	-	200,000

(3) 長期預け金

(単位：千円)

区 分	前年度末現在	当 期		当年度末
		増加額	減少額	
全 国 肉 用 牛 振 興 基 金 協 会	6,600	0	0	6,600

(家畜衛生課)

1. 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ヨーネ病等の防疫対策、牛白血病の感染拡大防止対策、BVD-MD 清浄化対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行防止対策を推進し、また、農場自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	5,674,000	5,244,098
事業収入 (ヨーネ病自己資金)	867,000	866,880

(1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査 (糞便の細菌培養)

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数 344 頭

(2) 牛白血病の感染拡大防止対策

牛白血病の感染拡大防止を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：平成 29 年 1 月 20 日

演 題：「農場における牛白血病ウイルス感染症」

講 師：宮崎大学テニユアトラック推進機構

産業動物防疫学分野 助教 目堅博久 氏

(3) BVD-MD 清浄化対策

BVD-MD の清浄化を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：平成 28 年 9 月 19 日

演 題：「BVDV 感染症の現状と対策」

講 師：酪農学園大学獣医学群獣医学類

生産動物内科学 I 教授 田島誉士 氏

(4) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

・検討会の開催 1 回

・指導農場数 357 戸 (延べ戸数 449 戸)

(5) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。

2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE 検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	9,995,000	9,339,060

- (1) 死亡牛検査処理安定化対策
輸送費及び化製処理費に対する補助

[補助対象頭数及び助成金額]

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	H28年度合計
48ヶ月齢以上 (頭)	142	188	157	140	627
助成金額 (円)	1,628,000	2,150,000	1,799,500	1,599,000	7,176,500

3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	6,720,000	6,713,234

本年度対象学生 : 10名 (国 1/2 大分県 1/2)

4. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	9,729,000	9,729,100
大分県 委託費	474,000	474,000

給付対象学生 : 10名 (国 1/2 大分県 1/2)

3名 (県)

合計 13名

インターンシップ研修を受けた学生 : 6名 (県)

5. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚コレラ等の海外悪性伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	2,000,000	1,826,167

- (1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

(2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

契約戸数 (戸)		家畜の種類	契約頭数 (頭)	積立金額 (円)	
乳用牛・肉用牛	1,257	・乳用牛 (24ヶ月齢以上)	9,123	2,143,905	
		・乳用牛 (24ヶ月齢未満)	3,667	348,365	
		・肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢以上)	15,587	3,507,075	
		・肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢未満) 及び肉専用肥育牛	20,973	2,307,030	
		・交雑種	6,014	631,470	
		・乳用種肥育牛	5,326	505,970	
		計	60,690	9,443,815	
豚	家族型 13	・繁殖用種豚 (雌)	873	104,760	
		・ " (雄)	49	5,880	
		・肥育豚	9,030	270,900	
			小計	9,952	381,540
	企業型 20	・繁殖用種豚 (雌)	10,034	1,254,250	
		・ " (雄)	358	44,750	
・肥育豚		109,390	3,828,650		
		小計	119,782	5,127,650	
		計	129,734	5,509,190	
合 計				14,953,005	

6. 自衛防疫推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	174,000	174,000

(1) 推進事業の開催

開催年月日	会議の名称	開催場所
H28.12.12	牛病部会	全農大分県本部会議室
H29.2.3	予防注射事業標準対価表検討会	全農大分県本部会議室
H29.3.24	家畜衛生専門委員会	全農大分県本部会議室

(2) 調査資料の作成

対象農家	戸 数
養 豚 農 家	48 戸
養 鶏 農 家	124 戸
計	172 戸

(3) 広報活動

- ・飼養衛生管理基準遵守に関するクリアファイル 2,200 部
- ・衛生管理区域立入禁止ステッカー 785 部
- ・畜産衛生手帳 100 冊

7. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	898,000	779,146
事業収入 (自己資金)	898,000	779,147

- (1) 施設運営費・・・コンテナ維持管理電気料
 任意労災保険
 フォークリフト年次・月次検査手数料 } 1/2 補助

8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	450,000	435,079

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催
 平成 28 年 12 月 13 日
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催
 平成 28 年 12 月 13 日
 演題：「日常遭遇する馬の疾病と予防対策について」
 講師：JRA 日本中央競馬会 馬事部防疫課 前田達哉 氏
- (3) 地域馬獣医療実態調査
 調査戸数 20 戸

9. 衛生体制強化基金事業 (自衛防疫思想普及事業)

自衛防疫の強化等をテーマとして地区自衛防疫団体主催の講習会等を開催するとともに、飼養衛生管理基準の啓発を目的として衛生管理区域立入禁止ステッカーを作成・配布し、自衛防疫意識の高揚を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	83,000	83,000

- (1) 啓発資料の作成
 立入禁止ステッカー 215 部
 畜産衛生手帳 50 部

(2) 講習会の開催

開催年月日	開催者	テーマ及び講師	出席人数
H29. 2. 13	中央牛疾病 対策協議会	「平成28年度の牛の病性鑑定事例について」 大分家畜保健衛生所生産衛生班 安達恭子 氏	15

10. 自衛防疫体制強化推進事業

伝染性疾病発生時の防疫対応等が出来るよう、生産者段階での防疫演習等を実施した。また特定悪性慢性感染症の防疫措置の基礎となる家畜の飼養衛生管理基準の徹底・啓発を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	2,000,000	1,872,715

(1) 防疫演習実施等

開催年月日	開催場所	参加者数	備 考
H28.11.2	大分県看護科学大学体育館	190名	県主催
H29.2.7	みどりの王国エントランス棟 及び駐車場	114名	酪農生産者対象
H29.3.6	株式会社大分県畜産公社	49名	肥育牛生産者対象

(2) 飼養衛生管理基準啓発推進対策

- 1) 講習会の開催 (2回)
- 2) 資料作成 飼養衛生管理基準に関するパンフレット 600部

11. 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業

馬伝染性貧血に係る清浄性確認調査を行うとともに、在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会を開催し、清浄化を図るための基礎情報を得るため、在来馬等について飼養及び衛生状況の実態調査、馬伝染性貧血について検討を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	142,000	130,735

(1) 在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会の開催

平成28年12月13日

(2) 在来馬等馬伝染性貧血清浄性推進

清浄性確認調査 10戸

12. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザのワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	350,000	325,247

(1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催

平成28年12月13日

(2) 馬インフルエンザ接種頭数 49頭

13. 野生獣衛生体制整備緊急対策事業

野生獣による伝染病の伝播拡散を防止するため、中山間地域における野生獣の衛生実

態調査を行い、家畜衛生関係者を中心とした畜産分野への情報発信体制を地域に構築・整備をした。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会委託費	3,222,000	3,183,878

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催

第1回 平成28年5月9日

第2回 平成29年1月20日

・講習会 演題：「野生動物由来の人畜共通感染症」

講師：山口大学共同獣医学部 獣医微生物学教室 助教 下田 宙 氏

第3回 平成29年3月8日

(2) 野生獣の衛生実態調査

イノシシ 47頭 (検査項目 オーエスキー病・日本脳炎・豚丹毒・PRRS・PED)

シカ 26頭 (検査項目 牛白血病・RS・BVD-MD・IBR)

14. 飼養衛生管理基準等緊急啓発促進事業

飼養衛生管理基準の見直しに伴い、迅速かつ的確に普及啓発をするための説明会の開催計画を検討し、地域の実態等に応じた啓発普及説明会を開催した。

区 分	予算額 (円)	受託額 (円)
中央畜産会 委託費	786,000	681,857

(1) 地域啓発普及促進委員会の開催

平成28年10月13日

(2) 説明会の開催

開催年月日	開催場所	参加者数	備 考
H28.11.24	大分市 養鶏団体連絡協議会研修会	59名	
H28.11.29	大分市 養豚協会研修会	62名	
H28.12.13	大分市 馬関係研修会	15名	
H28.12.22	別府市 大分畜産Net”鼓動”研修会	91名	
H29.2.7	大分市 大分県酪研修会	116名	
H29.3.6	豊後大野市 生連協肥育部会研修会	51名	

15. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者と、牛せき柱以外分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産副産物協会 委託費	180,000	172,205

事業対象食肉業者 1社

16. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	66,660,000	67,298,706

国庫補助事業・協会単独事業実績

豚疾病 (単位：頭)

協議会名	豚丹毒 (単)
県中央 (北海部)	534
県南地域	0
県西地区 (玖珠郡)	0
県北	0
合 計	534

牛疾病

(単位：頭)

協議会名	牛六混	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	ヘモフィルス
県中央	1,062	0	1,073	0	0	1,143	88
県南	4,374	607	5,008	1,380	1,362	4,475	739
県西	2,977	0	2,962	0	0	3,514	387
県北	862	628	1,492	1,066	0	2,910	685
合 計	9,275	1,235	10,535	2,446	1,362	12,042	1,899

鶏疾病

(単位：千羽)

協議会名	ND	NDIB
	生	生
県中央 (大分市)	174	0
県南地域 (大野地区)	0	19
県西地区	0	0
県北	0	0
合 計	174	19

17. 種畜精液保管譲渡推進事業

大分県肉用牛振興の基本方針に基づき、豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	15,288,000	15,277,870
事務手数料収入	1,178,000	1,137,080

支 所	譲渡本数 (本)
大 分	2,729
豊後大野	1,618
玖 珠	2,634
宇 佐	2,189
合 計	9,170

18. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付

牛診療 1頭 3,040円

19. 自衛防疫普及啓発事業

立入禁止ステッカーの作成

予防注射事業の啓発資料（市場日程表）の作成

事業報告書 附属明細書

附属明細書に記載する事項は特にありません。